



世界から 猫が消え たなら

佐藤 健 宮崎あおい

濱田 岳 奥野瑛太 石井杏奈 奥田瑛二 原田美枝子

原作：川村元気「世界から猫が消えたなら」

監督：永井 聡 脚本：岡田恵和 音楽：小林武史

主題歌：HARUHI「ひずみ」(Sony Music Labels Inc.)

製作：市川 南 共同製作：岩田天輔 久保雅一 高中進郎 石川謙晴 鉄尾剛一

脚本：坂本 健 水野道訓 高橋 誠 宮本直人 吉川英作

エグゼクティブ・プロデューサー：山内章弘 プロデューサー：春名 慶 藤澤匡哉

プロダクション統括：佐藤 毅 ラインプロデューサー：鈴木嘉弘

撮影：阿藤正一 照明：高倉 進 録音：藤 弘道 音響効果：齊藤昌利

美術：杉本 亮 装飾：渡辺大智 編集：今井 剛 スクリプター：工藤みずほ

VFXスーパーバイザー：神田剛志 スタylist：伊賀大介 衣裳：荒木里江

ヘアメイク：荒井智美 制作担当：藤原恵美子 助監督：藤江 健全

キャストイング：田端利江 音楽プロデューサー：北原京子

製作：映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

制作プロダクション：東宝映画 制作協力：ドラゴンフライ 配給：東宝

©2016映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

sekanecko.com

5月14日(土)公開



ラブストーリーが終わる。



世界は愛であふれていた。



これは余命わずかの僕と、
僕が生きたために消してしまった
「かけがえないもの」の物語。

世界から 猫が消え たなら

佐藤 健 宮崎あおい

濱田 岳 奥野瑛太 石井杏奈 奥田瑛二 原田美枝子

原作：川村元気「世界から猫が消えたなら」

監督：永井 聡 脚本：岡田恵和 音楽：小林武史

主題歌：HARUHI「ひずみ」(Sony Music Labels Inc.)

製作：市川 南 共同製作：岩田天輔 久保雅一 高中進郎 石川謙晴 鉄尾剛一

脚本：坂本 健 水野道訓 高橋 誠 宮本直人 吉川英作

エグゼクティブ・プロデューサー：山内章弘 プロデューサー：春名 慶 藤澤匡哉

プロダクション統括：佐藤 毅 ラインプロデューサー：鈴木嘉弘

撮影：阿藤正一 照明：高倉 進 録音：藤 弘道 音響効果：齊藤昌利

美術：杉本 亮 装飾：渡辺大智 編集：今井 剛 スクリプター：工藤みずほ

VFXスーパーバイザー：神田剛志 スタylist：伊賀大介 衣裳：荒木里江

ヘアメイク：荒井智美 制作担当：藤原恵美子 助監督：藤江 健全

キャストイング：田端利江 音楽プロデューサー：北原京子

製作：映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

制作プロダクション：東宝映画 制作協力：ドラゴンフライ 配給：東宝

©2016映画「世界から猫が消えたなら」製作委員会

sekanecko.com

5月14日(土)公開

100万部突破の感涙ベストセラー「せか猫」が映画化。 号泣必至の感動作に仕上がりました。

原作・川村元気による感涙ベストセラー『世界から猫が消えたなら』。
2013年に本屋大賞にノミネートされ、その後、文庫化・コミックス化、
そして中国・韓国・台湾で出版もされて累計100万部を突破。

“せか猫”の愛称でたくさんの読者に愛されてきた物語が、映画になりました。
「僕」と「悪魔」の二役に挑むのは、佐藤健。そのかつての恋人に、宮崎あおい。

映画マニアの親友を濱田岳、疎遠になった父を奥田瑛二、死別した母を原田美枝子。

さらに奥野瑛太、石井杏奈、そして僕の愛猫=キャベツとレタスもかわいらしく共演します。

また映画の大きなみどころのひとつ、絵画のように美しいロケーション映像の数々にもご注目ください。

函館・小樽の静謐な美しさと、アルゼンチン・ブラジルの情熱的でカラフルな街並みとのコントラスト。

なかでも世界遺産「イグアスの滝」でのシーンはまさに圧巻の迫力です。

監督は、『サントリー BOSS ゼロの頂点』『カローリメイト とどけ、熱量。』など数々のCMで広告賞を受賞し、
映画デビュー作『ジャッジ!』が高い評価を得た映像界の鬼才・永井聡。

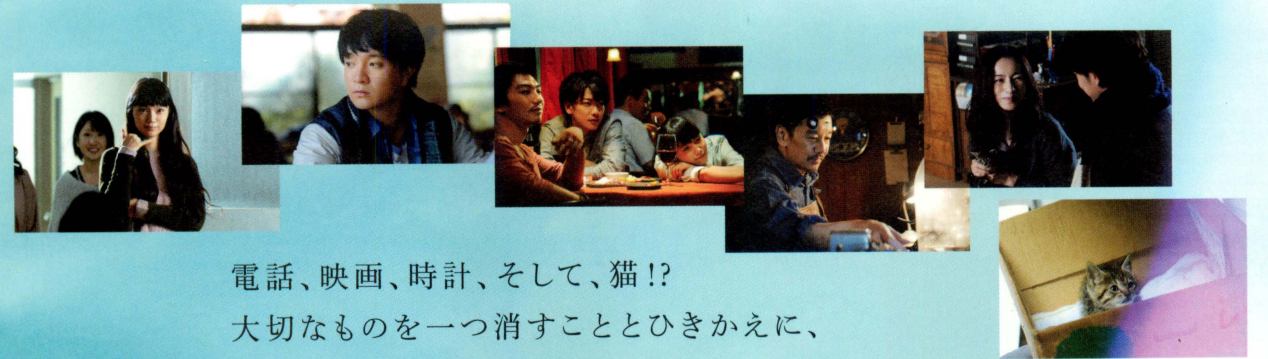
撮影に中島哲也監督作品で手腕をふるう、阿藤正一。

脚本は、次々と傑作を生み出す名手・岡田恵和。本編をドラマティックに彩る音楽は、小林武史。

そして大型新人アーティスト HARUHI が主題歌『ひずみ』で鮮烈なデビューを果たします。

日本屈指のクリエイターたちが集まって、あらゆる世代の胸を打つ感動作をつくりあげました。

世界から映画が消えてしまう前に、ぜひ皆さんに見てもらえたら。



電話、映画、時計、そして、猫!?

大切なものを一つ消すこととひきかえに、

一日の命をもらえらしたら?

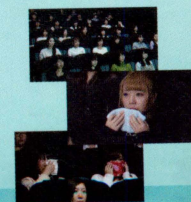


主人公は30歳の郵便配達員。愛猫キャベツとふたりぐらし。
母を病気で亡くしてから、実家の父とは疎遠になってしまいました。
恋人はいません。別れてしまった彼女のことを、まだ想い続けています。
趣味は映画鑑賞。友だちは映画マニアの親友が一人だけ。
そんな彼が、ある日突然、余命わずかの宣告を受けてしまいます。
脳に悪性の腫瘍ができていたのです。
ショックで呆然とする彼の前に、とつぜん、自分と同じ姿をした悪魔が現れて言いました。
「世界から何かひとつ、ものを消すことで、1日の命をあげよう」…。
悪魔のささやきに乘せられた主人公は、次々とものを消していきます。
電話、映画、時計、そして、猫。
ところが、何かを消すと、大切な人たちとの思い出も一緒に消えてしまうことになり…。
これは余命わずかの彼に起こった、せつなくもやさしい「愛」の物語です。



みんな泣いた!
「せか猫モニター試写会」!

「途中からずっと泣いてた」「見終わった後にも感動の余韻が」など多くの方から絶賛コメントをいただきました。その様子は予告編でご覧いただけます。



あなたの猫がポスターになる!?
「MY猫キャンペーン」実施中!

あなたの猫ちゃんが映画の宣伝ビジュアルに掲載されるチャンス! 飼主のみならず、ぜひ「せか猫公式サイト」に猫ちゃんの写真をご応募ください。詳しくは→sekaneko.comにて。

あらゆる世代の胸を打つ、やさしい愛の物語。5.14(土)公開

劇場内での映画の
撮影・録音は犯罪です。
www.eigakan.org
0120-550098